

三期生合格・内定体験記～後輩たちへのメッセージ～

◇ 熊本大学 医学部 保健学科 看護学専攻

文理科(大隅中出身)

大学受験は大変なものであったが、確実に良い経験となった。合格することができて嬉しく思っているが、両親や先生方、友人の支えなしでは合格を勝ち取ることはできなかったと思う。

大学受験を通して良かったと感じていることは最後まで高いレベルの大学をめざして勉強を続けてきたことだ。センター試験では、緊張や焦りから思うように得点できておらず、第一志望の大学を挑戦するのは少し厳しかった。だが、高いレベルをめざして勉強していた分、他の大学は良い判定が多かった。選択肢を狭くしないためにも、最後まで高いレベルをめざして良かった。

良くなかった点は、基礎が固まらないうちに応用ばかり手をつけていたことだ。1, 2年の時に宿題と予習以外の時間をとらないことがあり、基礎を固められていなかった。本格的に受験勉強を始めたのが、部活引退後だったため、基礎を固める余裕もなかった。そのため、応用もできず成績が伸びずにとっても焦った。

新入生と在校生に伝えたいことは、復習を疎かにせずに、基礎を固め、地道に勉強し続けるということだ。今、勉強せずに無為に過ごして、希望通りに進学できずに後悔するのは自分自身です。最初は辛いかもしれませんが腐らずに頑張ってください。

◇ 鹿児島県立短期大学 商経学科 経営情報専攻 商業科(末吉中出身)

私は、入学時から3年生の4月までずっと専門学校に進学したいと考えていました。しかし、3年生の1学期にあった三者面談で担任の先生から勧められていた鹿児島県立短期大学に興味をもち、オープンキャンパスに参加することにしました。オープンキャンパスではマーケティングのミニ講義を受け、そのとき自分が商品開発に携わっていたこともあって、講義の内容にとっても面白みを感じ、卒業後はここに進学したいと思うようになりました。

そして、夏休みにあった三者面談では受験することを決め、そこから受験科目であった小論文の練習が始まりました。練習では自分が今まで気にかけていなかった地域の問題点やそれに対する解決策、少子化対策や情報化社会などについて、とにかく様々な視点から問題が出されました。それと同時に、小論文は経済関係の問題が多かったため、新聞やニュースを見て、経済用語の勉強をしました。しかし、受験の

ある11月になっても思うように小論文が書けなかったり、問題を解くたびに知らない用語が出てきたり、苦労しました。また、面接で思うように答えることができないなど、いろいろな壁にぶつかりました。それでも頑張ることができたのは、先生方や周りの友達の応援や自分がそこに合格したいと強く思う気持ちがあったからだと思います。

試験内容は、小論文が「大学教育の在り方について」、面接は志望動機や入学することができたら受けた講義名、情報化についてどう考えるかなどでした。もちろん緊張はしましたが、取り組んできたことを出し切ることができたと思っています。

1. 2年生は自分の将来を決める大切な進路選択で焦ることのないように、たくさんのオープンキャンパスや職場見学に参加してみてください。その学校や企業について詳しく知ることができたら、今よりもっと進路について深く考えることができ、周りより少しだけ早く対策を取ることができるかもしれません。また、資格取得に励んだり、ボランティアや委員会に積極的に参加したりすることで自分の視野を広げることができると思います。今、様々な経験をしておいて無駄なことは絶対はないと思うので、ひとつひとつに一所懸命になって頑張ってください。

◇ 日本モレックス合同会社 鹿児島サイト

機械電子科(末吉中出身)

私は高校入学時から就職を希望していました。しかし、なかなかやりたいことが見つからず、どのような会社で働きたいのかイメージができませんでした。そんな時に、担任の先生から紹介していただき、興味をもつようになりました。工場見学に行った際には、整った労働環境や働いている社員の方々を見て、働きたいと思うようになりました。

私は、グループワーク面接と、個人面接の2回の試験に向けて、練習に励みました。私は人とのコミュニケーションが得意ではなく、緊張で自分でも何を言っているか分からなくなってしまうこともあり、かなり大変でした。やめてしまいたくなることもありましたが、自分のこれからの人生がかかっているの、やれることはすべてやりました。試験当日はかなり緊張しましたが、面接で特に大きな失敗もなく、自分がどれだけ働きたいかを伝えることができました。内定通知が来たときはとてつもなく安心して嬉しかったです。

後輩の皆さん、勉強することはとても大切なことですが、人とのコミュニケーションも大切にしてください。就職を希望しているのなら面接が必ずあります。後悔

しないように頑張ってください。